

県 広 報

とやま

特集/平成8年度富山県予算

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



“地域の国際化”の活動拠点が誕生 —富山県国際交流センター—

レポーター: 富山大学 土屋佐江子さん
(表紙の人)



▲ 遼寧省からの記念品「八駿馬」



▲ 珍しい国際交流物品を展示



▲ 海外の映像が楽しめるビデオブース



▲ 身近な国際交流をパネルで紹介



資料展示室内 ▶

最近、私たちの生活の中で、外国人々と接する機会が随分多くなってきました。今や自治体や企業だけでなく、民間グループや住民一人ひとりが国際交流に取り組む時代になってきたといえそうです。今回、私が訪れたのは、そんな国際交流を支える拠点として、この二月にインテック明治生命ビル(タワー1)4階にオープンした富山県国際交流センターです。さっそく国際交流員のデイビッド・ミラードさんにセンター内を案内してもらいました。資料展示室に入るとまず目につくのが、埋もれ木彫刻「八駿馬」と、銀とアメジストでつくられた鷲の置物です。これらはそれぞれ、中国の遼寧省、ブラジルのサンパウロ州から富山県との友好提携十周年を記念して贈呈された貴重なもの。ほかにいろいろな国際交流物品が所狭しと並んでいます。また、県や市町村と友好提携先との交流の様子を示したパネルも展示されていて、身近なところで国際交流が行われていることを実感しました。このほか、各国の図書を紹介する図書コーナーや海外の映像が楽しめるビデオブースなどもあり、気軽に情報収集や語学学習ができるようになって

います。国際交流についての各種相談や県内在住外国人の生活相談に応じたり、国際交流団体のネットワーク化を図るのもこの施設の重要な役割。皆さんも、富山での“地域の国際化”の活動拠点、富山県国際交流センターを気軽に利用してみませんか。

場所	富山市牛島新町5番5号 インテック明治生命ビル4F
利用時間	午前9時～午後9時
休館日	土・日曜日 祝祭日 年末年始
☎	0764-44-2500

富山が生んだ“非”真面目人

東京ビール企画代表

金戸賢昌さん



4

4月号もくじ



「いつも何かをクリエイティブしてない気が済まないんですよ。」と、商品プランナー、イベント・プロデューサー、作家として活躍する東京ビール企画代表の金戸賢昌さん。大学卒業後、大手量販店に就職した金戸さんですが、昔からの志である物書きへの思いが断ち切れず上京。「広告代理店でコピーライターの仕事をしているときに、脚本家の水谷龍二さんと出会ったことが、その後の進路を変えましたね。」水谷さんにシナリオの書き方を教わって自信をつけた金戸さんは、テレビ局に自作の台本を売り込んで認められ、当人気絶頂だったコント55号のテレビ番組「なんでそうなるの?」のシナリオづくりに携わります。「発想力が培われたのは、この頃だと思っています。この世界では、一番とんでもない発想をする奴が一番偉いんですから...」

番組が終了してからは、一転してファンシー雑誌の世界へ。業界紙を発行するかたわら、タレントの酒井法子さんが描いた「のりピー」をキャラクターにした文具やアクセサリー(のりピーグッズ)をプロデューサーとして大ヒット。また、自らが手がけたキャラクター「Two Lips」は、ハワイトデーのシンボルキャラクターにもなりました。「これは、二つの唇(トゥー・リップス)とチュウリップを掛け合わせてできたものなんです。」いかにも本県出身の金戸さんらしい発想です。そして昨年、普段から感じ入った言葉を書き綴ったショートエッセイ集「立往生」を発刊するなど、活動分野の広さには目を見張るばかり。「僕自身、マルチ人間だとは思っていません。ただいつも面白いことを探していて、その表現方法がモノであったり活字であったりするだけなんです。」

現在、東京を活動拠点としていますが、今後は故郷富山ともどんどん関わってきたいとのこと。「富山はともいい所なんですけど、常識が重んじられ過ぎていて、若者には息苦しいんじゃないかな。不真面目はいけないけど、私のような“非”真面目の精神も必要だと思いますよ。」これから面白ものを発し続けていきたい、と笑う金戸さんの瞳はまるで少年のように輝いていました。

とやま遊学感	表紙
撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員)	表紙
富山県国際交流センター	1
ひとアズとやま	1
東京ビール企画代表 金戸賢昌さん	1
特集/「住みよい富山」から「住みたい富山」へ	2
平成八年度富山県予算	8
PINUPPTOYAMA	8
写真/滝川邦彦(日本写真家協会会員)	8
詩/山本哲也(富山現代詩人会会員)	8
ふるさとみてある記(砺波市)	10
① 砺波よい音楽を聴く会	10
② チューリップ色彩館	10
③ 砺波郷土資料館 土蔵友の会	10
エッセイ/石川幹夫	12
(黒部市国際文化センター事務局)	12
シリーズ/彩りとやま緑化祭'96 VII	13
国民文化祭とやま'96 I	13
県からのお知らせ	14
暮らしのアドバイス	16
とやまの祭事記/築山神事	表3
(高岡市)	表3

住みよい富山から 住みたい富山へ

平成8年度富山県予算

平成八年度の富山県予算は、従来にも増して厳しい財政環境のもとで、新県民総合計画に基づき、富山県の発展と県民福祉の向上を図ることを基本として編成しました。

第一に、二十一世紀を展望した諸施策を着実に進めることとし、国際健康プラザ（仮称）とやま女性総合センター（仮称）、工業技術センター新研究所、全県域下水道化構想、全県域公園化構想、日本海ミュージアム構想などの主要プロジェクトを着実に推進するとともに、情報化施策や環日本海施策、国際交流の推進に積極的に取り組めます。また、今年開催される全国都市緑化とやまフェアや国民文化祭を契機に、花と緑の県づくり、文化の県づくりをさらに進めます。

第二に、県民の福祉・健康づくりを積極的に進めることとし、総合的な福祉に関する条例の制定に取り組みます。また、高齢者保健福祉計画に基づき高齢者対策にきめ細かく配慮するほか、総合福祉会館（仮称）の整備、母子医療センターの開設、入院生活やすらぎ事業等を実施します。

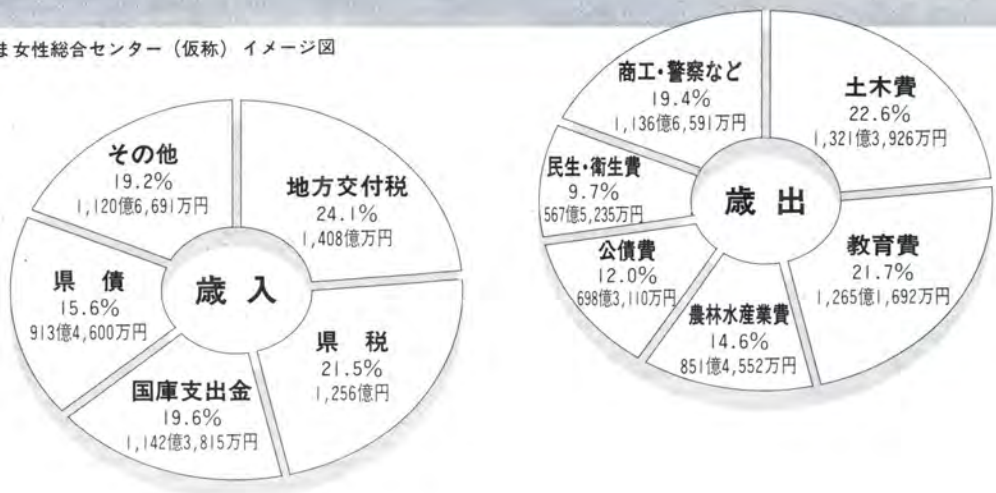
第三に、当面する課題や県民のニーズに的確に対応することとし、景気対策をはじめ、農業農村対策や中山間地域対策の推進、防災対策や環境対策の強化、個性や豊かな心を育てる教育の推進などに取り組めます。以下、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三大政策にしたがって、主要な事業を紹介します。



▲とやま女性総合センター（仮称）イメージ図

平成八年度
一般会計歳入・歳出予算額

5,840億5,106万円



明日を拓く
人づくり

2,072億
3,650万円

健康・福祉の増進
834億5,052万円

健康・福祉社会の確立



総合的な福祉に関する条例の制定に取り組むほか、地域福祉の中枢を担う総合福祉会館（仮称）の実施設計を行います。また、福祉カレッジの研修機能を充実するなど、健康・福祉の人材確保に努めます。子どもを生み育てやすい環境づくりについては、児童育成計画（県版エンゼルプラン）を策定し総合的に施策を推進します。

医療の確保

妊娠から出産・小児期までの高度専門医療の提供や保健指導の拠点として、県立中央病院に母子医療センターを設置するとともに、不妊専門相談事業を実施するなど、少子社会に対応した母子保健対策に取り組めます。

生活のなかの健康づくり

また、病院生活を快適にするための入院生活やすらぎ事業を実施します。糖尿病アタックプランや新しいがん攻略県民プランに基づいた普及啓発や健康診断体制の充実を図ります。また、新たに心の健康プランを策定するほか、精神保健センターを整備拡充するなど、精神保健福祉施策を充実します。なお、とやま健康村として整備を進めてきた国際健康プラザ（仮称）については、生命科学館、健康スタジアム、国際伝統医学センター等からなる総合的な健康づくりの中枢拠点として、引き続き実施設計を進めます。



スポーツ・レクリエーションの振興

二〇〇〇年国体については、シンボルマーク等を制定するほか、開会式等の基本構想や団体運営の情報システムの基本計画を策定します。また、科学的トレーニング等による競技力向上に努めるとともに、西部総合体育館（仮称）やカヌー場をはじめとするスポーツ施設の整備を進めます。

▼国際健康プラザ（仮称）イメージ図



社会福祉の充実

高齢者施策としては、ねたきりや痴呆を防止するための県民の行動プログラムを策定するほか、二十四時間対応のホームヘルプサービス事業や要介護高

学校教育の充実

県立高校における特別コースを拡充するなど特色ある学校づくりを推進するほか、いじめ等に対処するため、専任教員の増員や教育相談の充実、教員カウ

生涯学習の推進

1,083億1,696万円

生涯学習基盤の整備

生涯学習ネットワークシステムを二十四時間運用に拡充するほか、県立図書館の機能向上を図るため、資料センター等の実施設計を行います。



▼富山県中央植物園（温室内）



このほか、同フェアの会場となる中央植物園が全面開園するほか、市町村の専門植物園の整備に対し助成するなど、植物公園のネットワーク化を推進します。

二、魅力ある地域づくり

294億6,378万円

収集計画を策定するとともに、新たに市町村の分別収集施設等の整備に対し助成します。

- ・防災拠点施設整備の基本構想等の検討
- ・国際トイレンシンプジウム'96の開催（10月）

三、県土の保全と活用

975億5,381万円

地方拠点都市地域については、基本計画の円滑な推進を指導・支援していきます。

四、交通・通信体系の整備

666億6,528万円

一、快適な暮らしの実現

429億5,037万円

魅力ある郷土づくり

2,377億439万円

◀水墨画美術館イメージ図



県立大学において、大学院博士課程および生物工学修士課程を開設するほか、新たに博士課程の大学院生を奨学金貸与制度の対象とします。

三、科学・文化の振興

60億6,273万円

一、科学・文化を担う人の育成

このほか、新たに私立高校と私立幼稚園の施設の改築等に助成します。



二、魅力ある地域づくり

今年開催される第十一回国民文化祭とやま'96について、引き続き準備、運営に万全を期していきます。

三、県土の保全と活用

余暇推進のためのボランティア組織の設立を支援するとともに、ゆとりライフアドバイザーを育成するなど、余暇対策を推進します。

四、若者と女性の力を社会に

44億5,036万円

若い力の発揮 行動する若者のネットワークづくりや地域づくりの実践活動を支援します。

五、長寿、余暇社会への対応

一、快適な暮らしの実現

二、魅力ある都市の形成

いきいき長寿財団の事業や老人クラブ活動を支援するほか、平成八年八月八日に実施される笑いのイベントを支援します。

三、県土の保全と活用

先策定した環境基本条例に基づいた施策を積極的に進めます。中小企業に対しては、環境施設の整備資金の貸付制度を拡充するほか、市町村における低公害車の導入に対する助成制度を創設します。

四、交通・通信体系の整備

北陸新幹線の石動・金沢間および糸魚川・魚津間の建設工事を促進するほか、新幹線富山駅の設計等に協力します。



▲立山カルデラ砂防博物館（仮称）イメージ図

五、長寿、余暇社会への対応

余暇推進のためのボランティア組織の設立を支援するとともに、ゆとりライフアドバイザーを育成するなど、余暇対策を推進します。



◀消防防災ヘリコプター

六、全県域下水道化の推進

神通川流域下水道や小矢部川流域下水道の建設を推進するほか、農村下水道の整備や合併処理浄化槽の普及促進など、全県域下水道化に取り組みます。



富山県が誇る水をテーマとする文化施設の構想について、新川広域圏が行う基礎調査に支援するほか、水に親しむイベントに助成します。

七、情報通信基盤の強化

県庁情報通信網（LAN）の整備に着手するほか、県の行政情報を提供するパソコン通信ハローネットとやまの双方方向化を図り、県民からの意見を受け取

- ・東海北陸自動車道の上平・福光間の整備促進
- ・高山本線高速化に向けての調査
- ・富山空港の駐車場拡張
- ・伏木富山港港湾計画改定の調査に着手
- ・全国二ユーメディア祭の開催(11月)

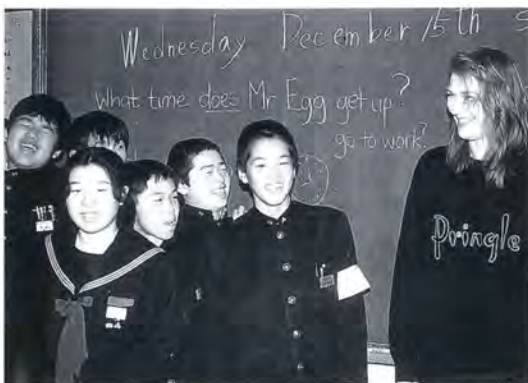
五、国際化時代への対応

10億7,114万円

国際交流・国際協力の推進

今年で友好提携五周年を迎えるアメリカ・オレゴン州に高校生プラスバンドを派遣するほか、現地で日本語スピーチコンテストを開催します。また、ロシア沿海地方の観光事業者等を対象に観光開発実務研修を実施するなど、観光の振興にも協力します。

また、環日本海地域における環境保全協力の拠点構想の具体化に向けて諸準備を進めるとともに、中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方から調査団を受け入れるなど、環境対策に対する国際協力を推進します。



このほか、県国際交流センターの活動基盤強化と利用促進を図り、地域の国際化を進めます。

活力ある
産業づくり

1,194億
4,524
万円

一、新世紀への産業展開

16億6,255万円

頭脳集積とやまの確立

高岡市において企業の事務所等が立地する業務拠点地区(オフィス・アルカディア)の整備を促進するとともに、その中核施設となる産業高度化センターの基本設計等を行います。また、小矢部南部丘陵企業団地の整備に向け諸準備を進めるほか、八尾中核工業団地の拡張部分について分譲を開始します。

工業技術センターについては、産学官が共同して新技術開発に取り組みほか、繊維研究所を新研究所として移転整備します。



▲オフィスの理想郷(アルカディア) 高岡オフィスパークイメージ図

富山湾の深層水については、非水産分野における利用について共同研究を開始します。

- ・工業技術センターに知的所有権センターを整備
- ・とやまデザインセンター(仮称)整備に向けての準備

二、農林水産業の振興

630億3,173万円

農林水産業の新たな展開

農山漁村の生産基盤や生活環境の充実を図るため、大区画ほ場や農林道の整備、農村下水道の普及を推進するほか、中山間地域の活性化を図るため、広域連携型の中山間地域総合整備事業を実施します。

たくましく魅力ある農業の確立

農業が大きな転機を迎えるなか、農家が意欲と展望をもって農業に取り組むことができるよう、本県農業の基本的方向を示す「アグロピア21」を改定し、総合的な施策の推進に努めます。

水田営農については、転作の実効性が確保できるよう「とも補償制度」の推進を支援するほか、集落営



農組織の育成や農協等による農作業受託センターの設置などを支援します。園芸については、園芸産地の拡大や稲作経営に必要な施設の導入に助成するなど、園芸特産物の生産を拡大します。

畜産については、畜産試験場の移転改築を進めるとともに、高能力乳用牛の受精卵供給体制を整備するほか、特定病原菌のない豚(SPF豚)のモデル農場設置を支援します。

活力ある林業の展開

林業機械化チームの育成や高性能林業機械の導入に支援するほか、新規就業者の住宅確保に支援するなど、担い手の育成に努めます。

資源をはぐくむ水産業の展開

資源管理型漁業の定着を促進するほか、水産試験場の調査船「立山丸」の代船建造の実施設計を行います。また、「県さかな」を選定し、本県水産業のイメージアップを図ります。

三、工業、商業サービス業の振興

513億6,975万円



中小企業・地場産業の振興

いわゆる新分野進出等円滑化法や、ベンチャー企

業に対する投資支援制度等の活用により、中小企業の新分野への進出や新産業の創出を支援します。また、配置業の設備の近代化や製造販売の共同化の促進等に助成するとともに、配置家庭業の共同物流センターの計画策定を支援します。

観光の振興

四月から実施されるJRグループによる全国的な誘客宣伝キャンペーン事業を活用するなど、観光・物産の宣伝活動を積極的に展開します。

黒部峡谷の利用の促進と流域の発展については、自然保護等に配慮しながら関西電力黒部ルートの活用も含め、幅広く検討します。

四、雇用と勤労者福祉

34億3,750万円

雇用の安定

女子学生など新規卒業者の就職支援対策を充実するとともに、中高年齢者の再就職や六十歳定年後の継続雇用の促進など、雇用の安定を図ります。また、県シルバー人材センター協会の組織と事業を強化し、センター未設置町村への事業展開に支援します。



▲女子学生就職支援セミナー

勤労者生活の充実

中小企業の労働時間短縮や、育児・介護休業法の普及啓発を行うとともに、事業所内保育施設の設置、運営を支援します。また、勤労者総合福祉センターの整備を支援するなど、勤労者福祉の増進に努めます。

施策の
実施のために

1,152億
1,161
万円

計画県政の推進

今年度から十二年度までの新県民総合計画の後継事業計画を策定するとともに、その適切な進行管理を行い、計画県政を推進します。

イメージアップ等

県外で活躍する本県ゆかりの人たちによりとやまファン倶楽部(仮称)が設置され、多様な情報交流がなされるほか、首都圏を中心にFM放送による魅力的な「富山の音」の発信などを通じ、イメージアップを図ります。また、各世帯配布用の広報紙を年二回発行するほか、県民相談ハンドブックを作成するなど幅広い広報公聴活動を行います。

組織機構・職員定数

十一の農業改良普及センターを四センター、三支所に再編するとともに、富山市へ保健所業務を移譲し、富山保健所を廃止します。また、消防防災ヘリコプターの運航管理のため防災航空センターを設置するほか、県立中央病院に母子医療センター部を設置します。

職員定数については、知事部局が保健所業務の移譲に伴い四十七人の減員、教職員については児童・生徒数の減少等により六十三人の減員、警察官については地域安全対策の充実のため十八人の増員を行います。



花びらの涙が
水面に沈むときに
櫂の滴が
桜樹に触れるときに
ねむりたりない空から日脚が
舟びとの胸元に落ちるときに
まさぐるように
ゆくりなくも
しずこころなく花の散るらん
とわが心に
ものうい春ひと日
花と川は流れている

Pin
UP
Town
ピンナップヤマ

松川辺りの桜

撮影／滝川邦彦 詩／山本哲也
写真プレゼントについては16ページ参照

砺波市

砺波市の概要

広々とした田園風景に農家とそれを包む屋敷林が点在する。鉢伏山から眺める散居村は四季折々にその顔を変え、自然の織りなす芸術美を展開する。春のチューリップフェアのころには、色とりどりのチューリップの花のじゅうたんが広がる。また、6月には花しょうぶ祭り、8月にはカンナ祭り、9月にはコスモスウォッチングと年間を通して花のイベントが楽しめる。



(平成8年2月1日現在推計)

チューリップの楽園誕生

チューリップ四季彩館



▲横山忠治さん

「球根を冷凍保存して開花時期を調整しているの
で、館内の一角にあるへチューリップスクエアでは、
四季彩館のネーミングどおり一年中チューリップ
が楽しめるんですよ」と、砺波市チューリッププラザ
建設班の横山忠治さん。このほか、チューリップの歴
史や球根の構造の紹介コーナー、コンピュータでオリ
ジナルのチューリップを創作するコーナーなどから
なるへチューリップミュージアム、四季を彩るいろん
な花が咲き誇るへフラワータラスなど、そこはま
さに花の楽園。「アトリウム内は、古来からチュ
リップ栽培が盛んだったトルコの街並みを再現し
ているんですよ」と横山さん。褐色のモスク調デザ
インで統一され、ふりそそぐ自然光とあいまって
独特の落ち着いた雰囲気漂わせている。また、
イベント用ホールの床面は水を吸収するよう加工
が施され、水撒きを必要とするフラワーショーな
どの会場には最適。

「チューリップフェア期間中に限らず多くの方
に来ていただきたいですね。花の町砺波に新たな
観光拠点の誕生である。*イスラム教寺院



▲ガラス張りの
きらびやかな外観

▶モスク調に統一された
アトリウム内



▲ミハエル・ブレトニョフを囲んで



▲小林正毅さん

「音楽愛好グループがプロによる演奏会を企画するというのは、
全国でも例がないでしょうね」と、今年結成四十周年を迎えた「砺
波よい音楽を聴く会」会長の小林正毅さん。
ささやかなレコード・コンサートに始まった同会の活動は、やが
て地元演奏家の発表の場の提供へと形を変えていく。そして昭和五
十七年、砺波市文化会館が完成すると、チャイコフスキー国際コン
クール優勝のピアノリスト、ミハエル・ブレトニョフを皮切りに、モ
スクワ放送交響楽団、国立キエフバレエ団など、世界的なアーティ
ストを次々に招聘してきた。特筆すべきは、同会が直接これらのコ
ンサートをプロデュースすること。「禁じられた遊び」は弾かない
と決めていたナルシソ・イエベスに頼みこんで同曲を演奏しても
らったこと、ロジェ・ワグナー合唱団にこきりこ節を歌ってもらっ
たこと、どれもが思い出ですわね」。

そしてこの六月、同会も
協力して「安念千重子・オ
ペラ「カルメン」となみ公
演」が開催される。「合唱メ
ンバーをオーディションで
集めるなど、市民をあげて
の催しなんですよ。これか
らも「砺波よい音楽を聴く
会」は、素晴らしい音楽の
提供を通じ、砺波野に音楽
文化を根づかせていくこと
だろう。



▲モスクワ放送交響楽団コンサート

一流の音楽を砺波野に

砺波よい音楽を聴く会

遊び心を大切に生涯「楽」習

砺波郷土資料館 土蔵友の会



▲会員の発表の場である例会

「砺波郷土資料館 土蔵友の会は、砺波の様々な
ことに目を向けて、楽しみながら郷土について学ん
でいるグループ。昭和六十一年に発足した。
「郷土に興味を持ち、郷土資料館の企画展を手伝い
に来ていた人々を中心として結成しました」と語る
のは、同会の尾田武雄さん。会員は市外在住の人を含
め現在五十八名。「土蔵友の会」という名は郷土資料
館が土蔵造りであることに由来している。
この会で調査しているのは、県内屈指の古刹千光
寺や増山城跡、中世の石造遺物、古代に食された赤米
など様々な分野に渡る。「城跡や寺社の測量、古文書、
宝物、建築様式などの調査を通じて、砺波のいろんな
顔がだんだんと見えてくるんですよ」と尾田さん。こ
うして調べたことは年刊誌「土蔵」で紹介し、会員は
もちろん希望者に有償で配布しているほか、図書館
や公民館などでも見ることができそう。

「歴史に限らず地理や文学など砺波の『わやわや』
を楽しむ遊び心が大切なんです」と尾田さんは微笑
む。地域に根ざした生涯「楽」習を実践する場として、
今後も砺波の文化の掘り起こしに二役買っていきこ
とだろう。



▲石仏の調査



▼年刊誌「土蔵」



▲尾田武雄さん

第13回全国都市緑化とやまフェア 彩りとやま緑化祭'96

全体会期 平成8年4月20日(土)～9月1日(日)
提 唱 建設省 主 催 富山県・高岡市・砺波市・財都市緑化基金

'96となみチューリップフェア

4月20日(土)～5月6日(月)

会 場 砺波チューリップ公園
(砺波市花園町)

開場時間 8:00～18:00
(4月20日は9:30～18:00)

入 場 料 大人700円 子供300円
(チューリップ四季彩館は、別途大人300円 子供200円)

見どころ ●350種100万本のチューリップが咲く大花壇、造形花壇、立体花壇など。
●新たにオープンする「チューリップ四季彩館」
●「花・ひと・くらし彩館」(県出展テーマ館)の展示
●富山県花総合センター「春のフラワーフェスティバル」
●おなじみのミスコンテストなど、楽しいイベント多数開催



富山県中央植物園 オープニングフェスティバル

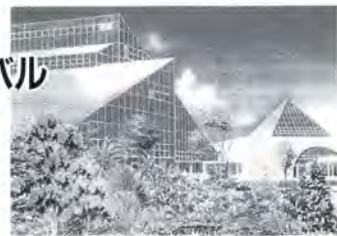
4月26日(金)～6月14日(金)

会 場 富山県中央植物園
(婦中町上替田)

開場時間 9:00～17:00

入 場 料 大人(高校生以上)600円 小・中学生300円

見どころ ●4つの温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹植物室、高山植物室)が全面オープン
●中国雲南省の奇石「石林の石」や植物を紹介する雲南コーナー
●世界と日本の植物の1,000種類を展示する「屋外展示園」
●世界の植物園展(4/26～6/6)、食虫植物展(4/26～5/6)など多彩な企画展を毎日開催
●「花・ひと・くらし彩館」(県出展テーマ館)の展示



問合せ

全国都市緑化とやまフェア事務局
〒933 高岡市本丸町7-1 (本丸会館内)
☎0766-25-1510

砺波チューリップ公園会場および富山県中央植物園会場の窓口で、メイン会場(高岡古城公園・高岡おとぎの森公園)の前売入場券を提示されますと、入場料金が割引になります。

第11回 国民文化祭とやま'96

平成8年9月28日(土)→10月7日(月)



いのちとくらし—とやまマンダラ大絵巻

会 場 県内28市町村60会場
事 業 ○総合フェスティバル

- 3事業(パレード、開会式、閉会式)
- シンポジウム 3事業(「自然との共生」他)
- 分野別フェスティバル
- 26事業(音楽、演劇、伝統芸能、伝統文化、舞踊、文芸、美術、生活文化、文化一般)

多彩なオープニングイベント

文化祭幕開けのオープニングパレードでは、県内の民俗芸能や、県外、海外からの団体も交え、総勢約1,500名による多彩なパレードを展開。

また、富山市芸術文化ホールでの開会式オープニングフェスティバルでは、「くらしと文化が織りなす—とやまマンダラ大絵巻」をテーマに、県内外や海外から多数の文化団体の参加を得て、多彩な表情を見せる富山の四季を軸とした華やかな大絵巻を織りなします。

富山ならではのイベントを展開

大型客船を利用した「富山湾上フェスティバル」や立山のこころを紹介する「立山フェスティバル」、万葉集全20巻を3昼夜かけて朗唱する「万葉フェスティバル」、散居村で知られる「となみ野」の文化を探究する「となみ野お祭り—揆」など多彩なイベントを開催します。

皆さんどうぞご期待ください。

国民文化祭への出展作品を募集します。

事 業	部 門	募集テーマ	受付・搬入期間
文 芸	短 歌	自由	3/1～5/31
	俳 句	自由	3/1～5/31
	川 柳	自由	3/1～5/31
	連 句	自由	2/1～4/30
	現代詩	自由	3/1～5/31
	美術展	日本画・洋画・工芸・書	自由
世界の児童画展	写 真	自由	7/18～7/24 (郵送) 7/22～7/24 (直接搬入)
	彫 刻	自由	7/25～7/27
	版 画	自由	7/25～7/27
	児童画	おいしい 楽しい 美しいかな	6/20～7/20
国際ポスター展	創作しかけ絵本	自由	6/20～7/20
	風の絵	自由	6/20～7/20
創作ファッションショー	ポスター	水	7/23～7/29 (郵送) 7/27～7/29 (直接搬入)
	デザイン画	ストリートファッション	3/1～4/30

応募に際しては、事前に所定の応募用紙(募集要項)を請求のうえ、応募してください。

問合せ

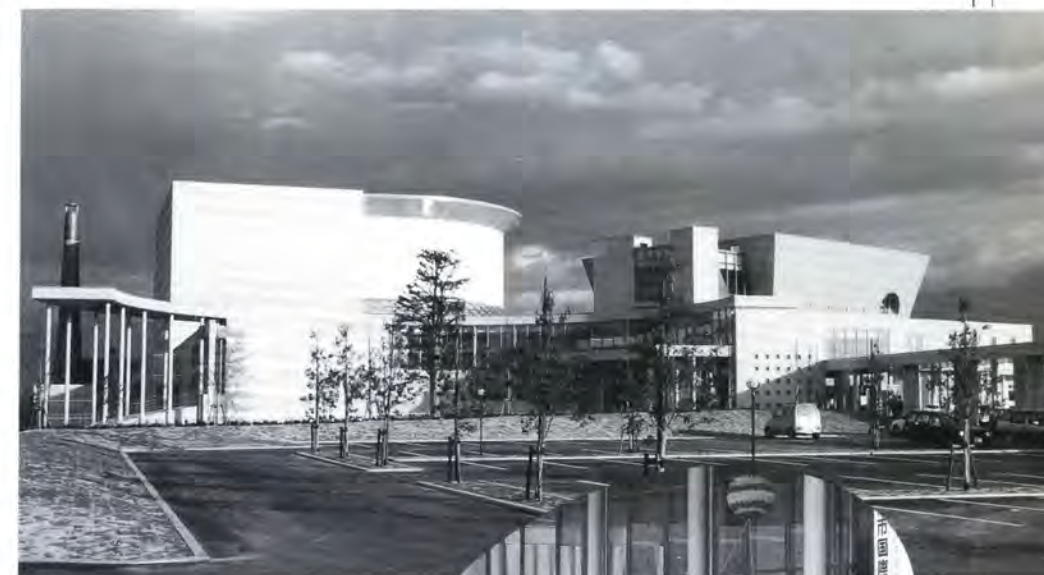
第11回国民文化祭富山県実行委員会事務局
〒930 富山市舟橋北町4-19 富山県森林水産会館内
☎総務課 0764-44-2183 事業課 0764-44-2184・2185・2186
F A X 0764-44-1566

Essay
Essay
Essay

カラーレ誕生記

黒部市国際文化センター事務局

石川幹夫



▲黒部市国際文化センター「カラーレ」



満員の観客が去り、片付けを終え、ホールの灯りを消す前にそつとステージに立って客席を見渡す。まだ耳に残る喧噪と現実の静寂のなかでつい考えてしまうときがある。
私の勤務する黒部市国際文化センターカラーレは昨年十一月三日にオープンをした。
誰もが気軽に立ち寄れる文化ホールづくりを目指し、あえて派手な柿落としは行わない方針を打ち立て、まず出来上がった建物を隅から隅まで見ていただくことから始めた。
能舞台からステージ裏、楽屋に至るまで全てを誰でも朝の九時

三十分から午後十時三十分、土曜日は十一時まで見れるように開放した。単に開放するだけでなく、ここにある施設設備でどんな使い方ができるか解るよう一流のプロを呼んで複数のワークショップを主、日に同時に開催した。そのワークショップには参加もできるし見学もできるという仕組みにし、十一月、十二月に約三十の自主イベントを集中開催した。
またこの期間、毎週日曜日および祝日には午前と午後の二回、建物の隅から隅までをクイズにしたオリエンテーリングを実施。クイズは茶室の隅から楽屋の片隅に渡って出題されており、子供たちが問題集と鉛筆を持ってホール内を駆け回るといふ今までのホールでは考えられないような光景が見られた。
この二か月間の入館者は三万三千人。大成功だ。
明けて一月から三月は、出来上がった建物を使っていただくという期間にして施設を無料開放した。冬の最も人の集まらない期間に関わらず、本当に多くの人で賑わった。
二月の日曜日には五千人を超える人が訪れ、迷子まで出たことがあった。ホール稼働率百パーセントのカラーレ現象に、嬉しい悲鳴を上げている。
カラーレは設計の段階から一般市民を交えてのソフトづくりを実施しており、柿落としのないオープニング、施設の無料開放という方針も、皆で考え、論議を戦わせて到達した結論であった。これだけ多くの人が来館したことに、やろうとしたことが正しかったんだと、ほっとしている。
ホールの稼働率ばかりが問題にされ、とかく批判的にされる文化ホール。稼働率でなく、ホールでのコンサートや発表会に至るまでにどれだけの人が動いたか、どれだけのことをしたかが重要であると考えている。
文化ホールのやっていることはひとつの運動であり、その結論が出るのは五年後十年後と長い。その時に良い評価がされているホールになりたいと念じつつ、私はホールの灯りをそつと消す。

県からのお知らせ Information

お知らせ

県政バス教室 参加者募集

4月下旬から県政バス教室が始まります。今年度は新たに「とやま歴史探訪」「エコ・ライフ」「国民文化祭」とやま緑化祭花めぐり」の4コースを加えました。県政の動きや富山の良さを、自分の目で見て、体験して、感想などをお聞かせ下さい。お一人でも、グループや団体でも参加できます。親子の体験学習は、夏休みにどうぞ。※親子バスは、小学校3～6年生が対象です。※参加料は無料。ただし、入館料などの実費は参加者負担となります。

申込み・お問合せ
富山 県庁広報課 〒930-80 富山市新総曲輪1-7
☎0764-313131

高岡 高岡地方県民相談室 〒933 高岡市赤祖父2-1
☎0766-219411

魚津 魚津地方県民相談室 〒937 魚津市新宿10-7
☎0765-245311

砺波 砺波地方県民相談室 〒939-13 砺波市幸町1-7
☎0763-331515

砺波総合庁舎内 ☎0763-331515

申込み受付期間
一般バス及び親子バス
4・5月運行分 4月1日(月)～4月8日(月)
6月運行分 4月15日(月)～4月25日(木)
7月運行分 5月1日(水)～5月17日(金)
8月運行分 5月31日(金)～6月14日(金)
親子バス運行分 6月10日(月)～6月28日(金)

9月運行分 6月28日(金)～7月12日(金)
10・11月運行分 8月1日(木)～8月16日(金)
カルデラバス
7/23、8/6運行分 6月15日(出)～6月28日(金)
8/27、9/10運行分 7月18日(木)～7月31日(水)
10/15 運行分 8月17日(出)～8月30日(金)

平成8年度税制の改正について

●住民税・所得税

昨年に引き続き平成8年分の所得税及び個人住民税について特別減税が実施されます。特別減税額は、所得税及び個人住民税の所得割の15%（上限あり）です。

また、住民税の均等割が次のとおり引き上げられます。

市町村税（標準税額）
年間 700円→1000円

人口 5万人未満 年間1500円→2000円
50万人未満 年間2000円→2500円
50万人以上 年間2500円→3000円

詳しくは最寄りの税務署、県税事務所、市町村税務課へお尋ね下さい。

●不動産取得税

不動産取得税は、土地や家屋の購入・建築など、不動産を取得したときにかかる県税です。税額は取得した不動産の「固定資産評価額」の4%（住宅は3%）です。

ただし、宅地等の不動産取得税は固定資産評価額の
①平成8年中に取得した場合は1/2
②平成7年中に取得した場合は2/3
をもとに課税されることとなり、税負担が軽減されます。なお、この他にも住宅やその敷地の取得に対しては特例があり、税負担が軽減される場合もあります。詳しくは最寄りの県税事務所へお尋ね下さい。

平成8年度労働保険年度更新のお知らせ

労働保険制度を支える労働保険料は毎年4月1日から5月15日を年度更新期間と定め、前年度の保険料の確定と今年度の概算保険料を自主申告していただき、同時に納付することを原則としています。この申告・納付については、4月1日から5月15日まで

今回は、イギリスと日本の二か国により、世界の美術の動向を対比的に紹介。

問合せ 県立近代美術館 ☎0764-217111

平成8年婦人週間「ロノのこい」開催

県では、4月10日からの婦人週間にあわせて平成8年婦人週間「ロノのこい」を開催します。

日時 平成8年4月13日(出) 午後一時30分～4時20分
場所 富山県教育文化会館ホール
内容 ①基調講演
・講師 樋口恵子（東京家政大学教授）
・演題 「私らしく、人間らしく、豊かに生きる」
②トーク&トーク
・樋口恵子
・戸田清一（三協アルミニウム工業株式会社相談役）

問合せ 県庁女性青少年課 ☎0764-4413137

「第51回富山県美術展」作品募集等のお知らせ

第51回富山県美術展の作品展を募集します。

部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
出品資格 県内在住者、本県出身者（中学生以下除く）
出品料 2000円（一般） 5000円（県展会員）

県庁雇用保険課、富山労働基準局、各労働基準監督署で受理しているほか最寄りの金融機関も利用できます。また、左記日程により出張相談受付を実施しますのでご利用下さい。

平成8年度年度更新受付相談日程

実施日	実施会場
4月25日(木)	小矢部公共職業安定所
4月26日(金)	水見公共職業安定所
4月30日(火)	新湊公共職業安定所
5月1日(水)	滑川公共職業安定所
5月2日(木)	砺波公共職業安定所
5月8日(水)	魚津公共職業安定所
5月9日(木)	高岡公共職業安定所
5月10日(金)	富山公共職業安定所

※いずれの会場も9時30分から15時30分まで受け付けます。

「FUSION」のイベント案内

緑に親しむ集い
春らんまんの頼成の森で、森林浴・シイタケのほだ木づくり・バーベキューなどを楽しみませんか。

日時 4月29日(みどりの日)午前9時30分～午後3時まで
場所 県民公園頼成の森
参加費 600円(バーベキュー代含む)
問合せ 頼成の森「森林科学館」☎0763-371540

自然に親しむみどりの日の集い
ナチュラリストの案内のもと、新緑の中で、身近な自然のすばらしさに触れてみませんか。

日時 4月29日(みどりの日)
場所 吳羽丘陵
参加費 無料
参加ご希望の方は富山県自然保護協会(☎0764-410099)に申し込みのうえ、当日午前9:00に城山入口駐車場(県道富山高岡線沿い)に集合して下さい。

4月は土地月間です。

国土庁では、毎年4月を「土地月間」として、土地についての基本理念や地価公示制度等の普及を図っています。最近の地価動向は、いわゆるバブルの崩壊以降、引き続き沈静化しています。今後とも地価の急激な上昇を防止し、適正な土地利用を図るため次の事項にご協力をお願いします。

①地価公示等の活用
県内主要地点の地価を地価公示として3月に、地価調査として9月に、毎年公表しています。土地取引の際には、目安になる価格としてご利用ください。

②土地取引の価格等の届出
一定規模(市街化区域2000㎡、その他の都市計画区域5000㎡、都市計画区域以外の区域10000㎡)以上の一団の土地について、土地売買等の契約を締結しようとする場合には、あらかじめ、取引予定価格等の届出が必要です。

問合せ 県庁水雪土地対策課 ☎0764-4413131 または各市町村役場

みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)32-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番
家庭問題・悪質商法・寄せいりなど、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
- シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- テレビ広報
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:25～9:40
「志の輔のふるさとトーク」
■富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30
「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」
■北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30
「こんにちが富山県です」
4/7 体験しよう県政バス教室
4/14 いさいき富山PR
4/21 我がまちふるさと自慢① ~魚津市~
4/28 開幕 花と緑のエキスポ ~彩りとやま緑化祭~
- ラジオ広報
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでお届けします。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成5月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
5日	北陸ジャスコ 高岡店前	10:00～16:00
6日	高岡サティ前	10:00～16:00
10日	滑川市役所前	12:30～16:00
12日	魚津サンプラザ前	10:00～16:00
16日	入善町商工会館前	9:30～16:00
19日	富山西武デパート前	10:00～16:30
26日	大島町アブリオ前	10:00～16:00

*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00～16:45)
富山県赤十字血液センター
富山市飯野26-1 TEL (0764) 51-5555

やまの築山神事記



◀ 築山

毎年四月二十三日、高岡市の二上射水神社では「築山神事」が行われる。この神事は山の神を築山（祭壇）に迎え儀式を行うという点で、全国的にも稀なものだ。

神事の前日、木を組み立てて、二上山頂に鎮座している二上神と日吉神を迎える築山を築く。大きさは、幅約七・二メートル、高さ約二・七メートルもある大きなもの。屋根の上には天狗、その下段には甲冑姿をした四天皇のわら人形が立ち並び、これら四天皇は、仏を具象化した天狗や降り立った神を守る役割を担っている。とされ、このことは築山神事に神仏混交の側面があることを示している。

自然への崇敬の念を新たに

祭礼当日、本殿で例大祭の儀式を終えると、獅子を露払い役に二上神、日吉神それぞれに乗せた三基の神輿と空の神輿が本殿を出発する。途中、空の神輿は院内社の女神を迎えに出かけ、女神を乗せた後、再び三基そろって築山へ向かう。築山の前で祝詞を奏上し、再び本殿へ戻ることで儀式は終わるが、この後、築山はすぐに解体される。というのも、解体時間が遅れると神事に招かれなかった神霊が荒れ、大雨をもたらすと恐れられているからだ。

この神事の起源は定かではないが、築山に車をつけたものが曳山に発展したとも考えられており、高岡御車山の原形を示す貴重な資料となっている。

古代からの山岳信仰を具象化した築山神事。人々はこの日、日々忘れがちな身近な自然への崇敬の念を新たにするのである。



▲ 神々に乗せた三基の神輿

暮らしのQ&A

「まだありますよ」



「うひゃー」



付け込まれる親心

学習教材のトラブル

Q 昨年六月に、学習教材業者から電話があり、ぜひ中学一年の息子と話をさせて欲しいといつてセールスマンがやって来ました。その人の話に息子がすっかり乗せられてやる気を見せたので、息子のために思い契約することにしました。しかし、その後息子は、送られてくる大量の問題集をこなさきれず、今ではほとんど使用しないままだったので解約しようと思うのですが、どうでしょうか。

A 訪問販売で契約した場合は、クーリング・オフ期間（契約日から八日間）内であれば無条件で解約できます。しかし、この期間を過ぎてからは、業者側の虚偽の説明がなされたなど以外は、「子供が勉強しなくなった。」などの消費者側の一方的な理由での中途解約は難しくなります。本件の場合も解約には業者の同意が必要になります。センターでは、解約の理由を書面に書いて申し出てみるよう助言しました。

学習教材商法の特徴は、受験競争に揺らぐ子供や親の心に付け入り、巧みなセールストークで、購入イコール学力向上を必然化し、購入契約に持ち込むところにあります。また、契約の多くが二年分、三年分、中には小学校、中学校までの九年分など、大量セット購入が条件となっています。販売時、セールスマンの口頭による説明と契約書の内容が違っていたことにより、後日トラブルになることもあります。契約する時は、教材だけの契約か、学習指導付きの契約か、教材や指導の内容などは適切か等を必ず確認するようにしましょう。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)92933、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

「のりピーグッズ」なるものをこ存じだろうか？酒井法子さんの描くイラストを使った文具や衣類などのことだが、一年半で商品売上が何と六十億円に達したというから驚きだ。商売のネタは、どこに転がっているかわからない。発案者は本県出身の金戸賢昌氏。

アイディアはいつも人込みのなかを闊歩しているときに浮かぶという。大切なのは遊び心をいつも持ち歩くこと、なんですね。(K)



土蔵友の会の尾田さんは、ご自宅の古いカメラ、置物、各種書物、ボランティアの話など趣味が幅広い。帰り際「今度遊びに来られ。もっとゆっくり話さんまいか」。たとえ社交辞令でも何だか嬉しい。さて、春を実感できる季節になりましたが、尾田さんを少しでも見習って自分も新しく何かを始めてみたい。(A)

いよいよ春。県内各地で春祭りが行われる。私の住む大島町新町でも子供神輿が町内を巡回する。児童会を中心に行うもので、伝統の祭りという訳でもない。だが、年に一度、町内全体がちょっとした祭り気分になれる楽しい日である。(Y)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。5月23日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 4月号係あて	〒930 80
氏名	
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

広めよう 自然を愛する心

ナチュラリスト養成講座受講者募集



県では、県立公園などを訪れる人々に自然の仕組みや自然保護の大切さなどの解説を行うナチュラリストの養成講座を開催します。

この養成講座では、自然に関する基礎的な知識を学ぶとともに、現地での研修を通じて解説方法を身につけます。

全国にさきがけてナチュラリストを制度化した本県では、現在、立山の室堂・弥陀ヶ原をはじめ称名滝、ねいの里(婦中町)、頼成の森(砺波市)の4か所で解説活動が行われています。

あなたも自然と人間との架け橋となり、自然を愛する心を広めてみませんか。



—— 募集期間 ——
4月22日(月)～5月8日(水)

—— 応募方法 ——
県庁自然保護課および各市町村窓口
に備付けの募集要項に基づき応募

—— 受講資格 ——
・原則として20歳以上60歳未満
・県の計画するナチュラリスト活動業務に従事できる人

—— 募集人数 ——
50人
(応募者多数の場合は抽選することがあります。)

—— 講座日程 ——
5月29日～10月9日までの毎週水曜日
午後6:30～8:30 (現地研修会は4回実施)

—— 会 場 ——
富山県教育文化会館

—— 問 合 せ ——
県庁自然保護課
☎0764-44-3396